

これで合格！

面接必勝マニュアル

オーディションと面接の違い

オーディション: 実際の鑑定など、**実技**を見る

面接: 意欲や人柄など、**個性**を見る

いくら鑑定が上手な人でも、
面接で低評価だと不採用になる！

面接対策をするとこんな**メリット**が！！

★たとえ鑑定の評価が悪くても、

将来の可能性を見込まれて採用になる可能性が高まる！

★**リラックス**して面接に参加できる！

★面接官の**要求に合った話**ができる！



面接の概要



☑ズバリ、面接ではここが聞かれる！

- ① 占いの経験はあるか？
- ② 月待機時間はどれほどか？
- ③ 占術は何を使うか？
- ④ 兼業か専業かどちらか？
- ⑤ 希望収入はどのくらいか？
- ⑥ 契約の継続に影響のある持病、疾患はあるか？
- ⑦ うちのサイトを選んだ理由は？
- ⑧ いつ頃のデビューが可能か？
- ⑨ 顔出しは可能か？



よくある質問とその対策



質問1. 占いサービスの実績はあるか？

過去実績はまず質問されます。経験がある方のほうが評価は高いです。しかし、「ない」と答えても条件や**鑑定、人柄**を鑑みて評価している会社は多いです。

電話、メール、チャット、対面と、それぞれ何年活動してきたかをそのまま答えて大丈夫です。

実績以上に**オーディションでの鑑定**が評価されるので、面接時に実績を誇張しすぎたり、語り過ぎる行為は審査員に良い印象を持たれません。

実績がなくてもOK！ 鑑定・人柄が最重要！

所属していた会社名と占い師名を教えてください。

(質問1で「ある」と答えた方向け)

実際に所属していたか、サイトで調べ、**応募者がどれくらいのレベルか**を把握することが目的です。

どれほど活躍しているのか、どんなプロフィールで紹介されているのかなどを確認します。**嘘をつかない**ように注意しましょう。

応募者のレベルをチェックする！

既に契約は解除されているか？ いつ契約解除予定か？

(質問1で「ある」と答えた方向け)

実績のある占い師の移籍は歓迎されますが、占い会社間の兼業を禁止している会社もあります。

会社側は**移籍を巡っての契約トラブルは避けたい**と考えていますので、先方に解除の話はついているのか、まだ悩んでいるのか、契約についての現状を**正直**にお話ください。

他社との契約トラブルは絶対に避けたい！

以前の会社での収入は どれほどあったか？

(質問1で「ある」と答えた方向け)

面接官は、**どれだけ稼いでいたか**、また**弊社でどれくらい稼ぎたい**と思っているか、希望水準を知りたいと思っています。

過去の最高月収を答えれば大丈夫です。しかし、担当者は過去の実績から大まかな収入を推測することができるので、誇張し過ぎるとすぐにバレてしまいます。金額面の質問は必ず**正直に**答えましょう。

希望額と合わせて先方にお伝えするのがよいかと思います。

最高額を答えればOK！希望額も伝えるとGOOD！

質問2.待機時間を どの程度確保できるか？

待機時間は選考に大きく関わっています。

専業であれば月120時間、兼業や他社所属でも月60~80時間は最低でも確保しておくことをお勧めします。それ以下になってしまうと、デビューしてもユーザーの獲得が困難になってしまうため、この基準を下回る人はいくら能力があっても売れないと会社側は判断し、この段階で不採用となる可能性が高いです。

待機時間が基準を下回る人はここで不採用にする！

↓↓↓回答ポイントは次ページ↓↓↓

繰り返しになりますが、専業であれば**月120時間**、兼業や他社所属でも**月60~80時間**は**最低**でもクリアする必要があります。もちろん、多いほど評価は高くなります。最低待機時間を設けている会社も多いので、担当者にノルマはあるのか訪ねることをオススメします。

曜日と時間帯を決めて待機をするとシフトは組みやすく、担当者にも伝わりやすいため、「**○曜日の△時から◇時**」と自身の可能待機時間を伝えてください。

※待機時間管理の方法は各社によって違います。事前に伝える必要があるのか、待機入力後の変更は可能か、などシステムについても確認しておきましょう。

最低時間は必ず満たす！

希望シフトを具体的に説明する！

質問3.使用している占いの手段は何か？

面接では、あなたが使える占術が**需要のあるものかどうか、売れるものかどうか**を確認しています。また、使用可能な占術の最低、必須の占術を決めている会社もありますので、担当者に確認しましょう。

使える占術は多いほうが良いですが、正直に使用している手段を話したうえで、**メインの占術を伝える**ことで、担当者は把握しやすくなります。

売れる占術か、NGな占術でないか確認する！

質問4. 専業か、 兼業（他業種・他社所属）か

先ほどもお伝えした通り、会社間のトラブルは避けたいので、希望業態を正直に伝えましょう。兼業だからダメ、ということはありません。

特に専業であれば、ある程度の収入が得られないとすぐに移籍してしまうため、「この占いは、弊社でやっていく意志がどれだけあるか」を見えています。

希望条件を確認する！

質問5.希望収入はどれくらいか？

自社でデビューさせたものの、収入面での不満からすぐに辞めてしまうことを会社はとても嫌がるため、オーディション結果と待機予定時間などを考慮して、あまりに希望額が離れていると「弊社ではそこまで稼がせることができない」と落とされてしまうことがあります。

希望額はもちろん正直にお伝えしていただいても構いませんが、**どのように活動すれば希望額に到達するのか**を担当者に確認すると良いでしょう。

待機予定時間と希望収入のバランスを確認する！

質問6.業務に影響する持病はあるか？

急な待機変更の原因となりそうな持病のある場合には、トラブルになる前に担当者に相談しておきましょう。

持病の有無は合否に直接的に関係するわけではないので、隠す必要はありません。

占い師の心身状態を把握しておきたい！

質問7.うちのサイトを選んだ理由は？

面接官は、応募者が会社とどれくらいマッチしているかを見ています。
どの経緯で自社のサービスを選んだか、**正直に**答えましょう。
応募の際には、**何を求めてそのサイトを選んだか**を事前に確認しましょう。
例(サイトのお客様ターゲットと自分との相性、大手の集客力への期待など)

会社との相性を確認する！

質問8.いつ頃のデビューが可能か？

デビューは、その後のキャンペーンや特集などよりも**注目を集めるイベント**であり、**まとまった時間を確保してほしい**と会社側は考えています。

デビューを急ぐ必要はありません。それよりも、まとまって時間を確保できる日をデビュー日に設定しましょう。少なくとも、デビューから**10日から1か月**はまとめた待機時間を取れることが理想です。

デビュー直後に

十分な待機時間を確保できるか確認！

質問9.顔出しは可能か？

やはり**顔出しできる方のほうが評価が高く**、また審査の結果にも関わってくることもあります。一定以上の収入を意識される方は、家族の了解などを得て積極的に挑戦しましょう。

編集もされますし、占い師は全国に数多くいるため、**特定される可能性は非常に低い**です。

顔出したほうが売れる！